

2017年9月18日

第57回青雲塾 報告

青雲塾担当 松井繁幸 (第23期)

<http://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/list.html>

1. 日時 8月24日(木) 午前9時30分～午後0時20分
2. 場所 大阪大学中之島センター 9階 会議室2
3. 講師 高橋俊郎先生
(大阪文学振興会総務委員・帝塚山派文学学会副代表・オダサク倶楽部副代表)
4. 演題 『織田作之助新資料について—2,000枚の草稿に見るオダサクの実像—』

5. 会費 2,500円(資料代、茶話会費その他経費を含む)

6. 協賛 オダサク倶楽部

7. 講師のプロフィール1

大阪文学振興会 総務委員[織田作之助賞・関西文学散歩]

帝塚山学院[帝塚山派文学学会]副代表・雑誌[大阪春秋]編集委員・オダサク倶楽部副代表

同志社女子大学嘱託講師・前大阪市立中央図書館副館長

8. 講師からひと言

お話する概略は以下の通り。

(1)新発見資料の山盛り！織田作之助資料の由来について

今に遺されている織田作之助関係資料には次のものがある。

その由来を辿ることは、すなわち織田作之助他界前後の様子を辿る旅に他ならない。

特に織田禎子氏寄贈資料は織田作之助の創作活動の全貌を明らかにしてくれる。

- ① 大阪府立中之島図書館織田作之助文庫
竹中タツ氏寄贈 織田作之助差出書簡等は各氏寄贈
- ② 日本近代文学館所蔵織田作之助関係資料
輪島昭子氏寄贈
- ③ 関西大学図書館所蔵大阪資料の内織田作之助関係資料
関西大学収集織田作之助自筆原稿
長沖渉氏寄贈長沖一 資料中の織田作之助資料
- ④ 個人所蔵織田作之助関係資料の内の貴重資料等
吉川民氏所蔵織田作之助自筆俳句短冊
故藤澤桓夫氏所蔵織田作之助関係資料
故杉山平一氏所蔵織田作之助関係資料
高橋俊郎所蔵織田作之助著初出雑誌並びに関係研究書揃い
- ⑤ 本件 織田禎子氏寄贈織田作之助資料
旧竹中タツ所蔵資料から西沢登美子氏を経て織田禎子氏へ

(2)織田禎子氏寄贈織田作之助関係資料の重要過ぎる意味

- ① 反古原稿用紙の山が語る織田作之助の創作活動
- ② 『夫婦善哉』4種の草稿に見る西鶴発見の道筋

- ③ ようやく揃った『青春の逆説』『木の都』、『世相』などの自筆原稿
- ④ シナリオ断片「八路軍C S団の女」は何だったのか
- ⑤ 反古原稿とはいえ、新発見資料がもたらす織田作之助研究の地平

9. 特別ゲスト ～北浦慎三さんをお迎えして～

講演のあと、北浦慎三さんから貴重なお話を伺うことが出来ました。

北浦さんは、肥田皓三先生と同級の旧制高津中学26期・高津高校1期。

現在、太陽シックス株式会社代表取締役 社長。

織田禎子さん（織田作之助の姪、養女）の後見人を務められました。

「もともと太陽鉄工の息子さんですが、大学を出られたあと、暫時中学校の先生をされ、その時、織田禎子さんが教え子でした。禎子さんの両親に招待され、別府へ行ったと聞いています。」（肥田先生）

10. 青雲塾担当から

中之島図書館には、以前より織田作之助の旧蔵資料など約1,500点をまとめた「織田文庫」がありますが、奇しくも没後70年にあたる本年、織田禎子さんより、新たに関係資料約650点が寄贈されました。

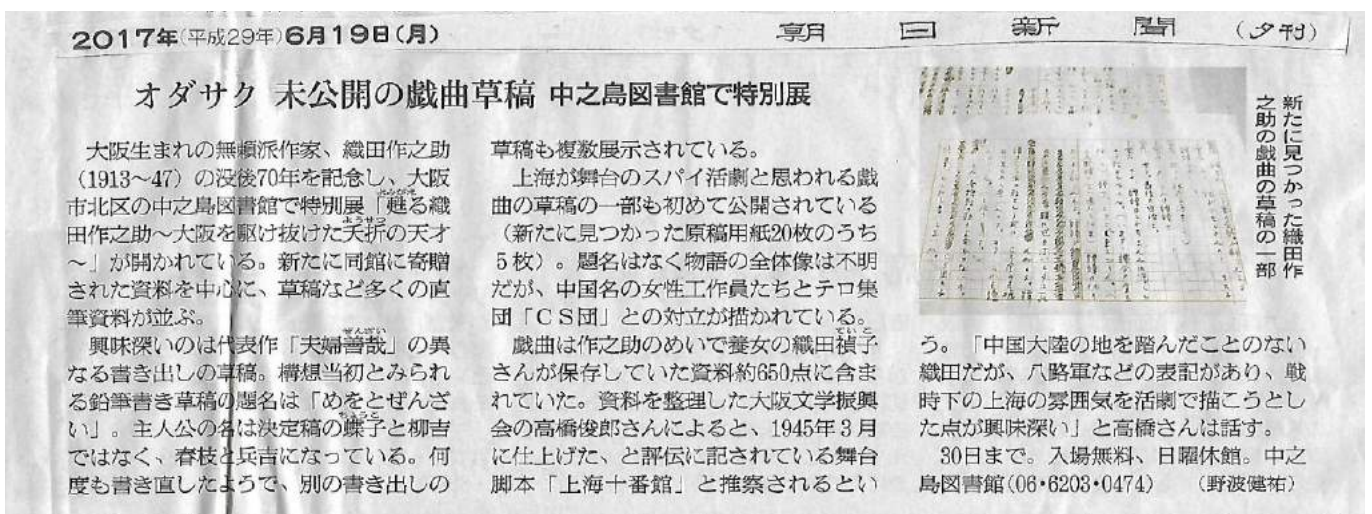
これを記念して6月に中之島図書館で特別展が開催され、高橋講師が関連講演会の講演をされました。

これを聞き逃した方にも貴重な研究成果の一端を伺えるいい機会となりました。

私に関わっているオダサク倶楽部。 <https://ja-jp.facebook.com/OdaSakunosuke/>

また、高津高校の20年上の北浦先輩と結構なご縁をいただき、今回の集まりを企画することが出来ました。お忙しいところ、皆様方のご協力にこころからお礼を申し上げます。

★講演、北浦さんのご紹介のあと、休憩をはさみ、先生・北浦さんを囲んで茶話会を開きました。



第57回 青雲塾(2017.8.24) 写真



◀①「織田禎子氏寄贈織田作之助関係資料の重要過ぎる意味」を語る高橋俊郎講師。

②講義風景▶



◀③87歳にして、現役の経営者・ロボット工学の先駆者の北浦慎三さんが特別ゲストとして、教え子の織田禎子さんの思い出を語る。



◀④休憩をはさんで、茶話会でも話が尽きない。

⑤案内板▶

